



東陽中だより

第3号

令和8年6月9日

江東区立東陽中学校

校長 小林 一志

《本校の教育目標》

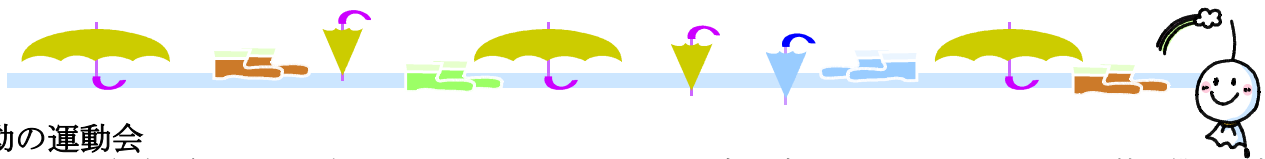
- 1 よく考えすすんで学ぶ生徒
- 1 ねばり強く努力する生徒

- 1 思いやりがあり協力する生徒
- 1 健康で明るい生徒



校長 小林 一志

素晴らしいお天気の中で無事に運動会も終わりました。生徒たちの生き生きした姿、満面の笑顔が、太陽の日差しの中でひとときわ光っていたように感じます。そして、季節は移り変わり「梅雨入り」の季節を迎えました。雨が苦手な人にとっては心地よくない季節かもしれませんが、植物にとっては大切な雨の季節。ステキな傘をさして出かけるのもよし、かたつむりを探して歩くのもよし、アジサイの花を楽しむのもよしです。この梅雨の時期を楽しみながら過ごせる心の余裕を持ちたいものですね。



★感動の運動会

5月30日(土) 前日からの強風には少し悩みましたが、見事に晴れ渡った空はこれからの熱き戦いを想像させてくれました。校長室に飾らしてもらった「てるてる坊主」も誇らしげに生徒たちの様子をうかがっていました。

スローガンは午年にちなんで「馬くいく!!～全員主役の真剣勝負!～」みんなで心をつなげて臨んでいました。特に選手宣誓では代表生徒の周りをクラス目標を掲げた各クラスの実行委員が取り囲み、真剣なまなざしで熱い思いを語ってくれました。どの競技でも生徒たちは、全力で取り組んでおりその姿に感動です。また、競技だけでなく係生徒の動きが本当に素晴らしかったです。用具係と審判係の素早い動きと召集係の誘導の素早さが、運動会全体の進行を時間通りに進めてくれました。司会進行係も上手なアナウンスで観ている人たちに感動を与えてくれました。そして、得点係も得点板への点数掲示に工夫を凝らせ、最後の場面ではみんなの感動と驚きを呼び込んでくれました。私自身は、あのじゃんけん！楽しかったです。来年もっと強くなって帰ってこようと誓いました(笑)そして、部活動対抗リレーも最高でした。江東区の学校で30年務めています、初めて観させてもらいました。本当に、みんなみんな素晴らしく、全員が主役で真剣に取り組んでいた姿に本当に感動させてもらいました。生徒のみなさん、ありがとう！

※早朝よりお手伝いいただいたPTA役員の皆様。ご協力いただき誠にありがとうございました。



★6月の校長講話より(要約)

6月はふれあい月間です。友だちと仲良くしよう！人の気持ちを考えて行動しよう！ということを中心に意識して活動しようという月でもあります。今日は「いじめの矢と心」を準備してきました。私はいじめが大嫌いです。いじめが早くこの世の中からなくなればいいと思っています。この心はいじめを受けている人の心です。「嫌がらせの矢」「からかいの矢」「無視や仲間外しの矢」「暴力の矢」「言葉の暴力の矢」等々が刺さっています。実際にはもっともっと多くの矢が刺さっているかもしれません。この心はこれからどうなるのでしょうか。

このままでは心が引き裂かれたり、壊れたりしてしまうかもしれません。心が壊れてしまう前に、いじめの矢をぬかなければならないのですが、いじめられている本人は抜くことができないのです。周りの人が、「1人じゃないよ」「大丈夫だよ、私がついているよ」「心配ないから！味方だよ」等々、励ましてくれる人がいれば、矢は抜くことができます。そして、いじめをしていた人が反省して「心からごめんなさい。もう二度としない」と謝ることも良いでしょう。そして、いじめをやめさせるのです。(中略)しかし、矢が抜けた心を見てください。いじめの矢が抜けた心には抜けた跡が残っています。全部抜いてもいじめの跡は残るのです。10年たっても、20年たっても…だから、いじめは絶対になくさなければならないのです！(中略)相手の気持ちを考えるということが大切なんです。いじめのない世界を作ろう。そして、君の兄弟姉妹や友だちに伝えるだけでなく、いずれ生まれ来る君たちの子どもたちへ、親として確実に伝えてください。

「いじめはダメなんだ！」とね。一緒にいじめのない世界を作るために協力してください。



★5月校長講話より（先月号で載せることできなかったの）

春から君たちの様子を見させてもらいました。授業にもしっかりと取り組み、委員会活動にでも自主的に取り組む姿、部活動もみんな一生懸命頑張っている様子がとても素晴らしいと思いました。そんな素晴らしいみんなに、更に良い東陽中、そして、ステキな人になってもらいたく、今日は2つの話を伝えたいと思います。

1つは、もっともっと「あいさつができる学校にしたい」と真剣に考えています。そして、みなさんには、あいさつができる人になってほしい。素敵なあいさつは、人を幸せにする力をもっている。あいさつができる人は、困っている人がいたら気軽に声をかけ、助けてあげることができる。あいさつができる人は、社会に出ても、また会ってみたいと思われる人となれると考えています。そこで提案があります。「あいさつで日本一の学校」にしたいと思っています。是非、協力してください。もちろん君たちだけでなく、私も頑張ります。先生たちも率先して頑張ってくれます。一緒に「日本一あいさつできる学校」にしていきたいと思います。

次に、「あいさつ」を大切にすること、本当に小さなことかもしれないけれど、小さいことを大事にすると大きなことができるようになるんです。「おはよう」「こんにちは」のあいさつ、ゴミをしっかりと拾う、地域清掃をする、グラウンド整備がしっかりとできる、時間を守る、整理整頓やご飯をしっかりと食べる等。そんな何気ない小さなことを一つ一つやっていると、必ず大きな力になって返ってくる。小さなことをコツコツと積み重ねていくことの大切さを実感できる日々にしてください。

目標は人を動かし 言い訳は人をダメにする

★「聴く」ということ

「聞く」と「聴く」は違う。「聴く」という字は「耳」プラス「目」と「心」。友だちの声に耳を傾けるだけでなく、目と心を向けて、しっかり聴こう！ということを担当時代によく話をしました。心を傾け、話を誠心誠意聴くことを「傾聴」といいます。話し手に興味をもち、一生懸命に話を聴く。話している言葉だけを聞くのではなく、話し手の表情を見ながら、相手に心に向けて聴く。人は、自分の話を真剣に聴いてくれる相手には心を開き、その相手との対話を心地よく感じていきます。

今、子どもたちに表現力を育てていくことの大切さが叫ばれています。しかし、生徒たちを話し上手に育てるためには、まず聴き上手に育てる必要があります。そのことで生徒たちの間に心地よい関係が成立し、心を開き、安心して話せるようになっていくのです。

東陽中では、全校で「聴く」の姿勢を育てていきたいと思っています。ご家庭でも何かの折に触れ、「聴く」ということの大切さを子どもたちに伝えてくださればと思います。



★東陽中生徒の活躍



☆陸上競技部

第77回東京都中学校地域別陸上競技大会

女子東部共通 砲丸投げ 記録 9 m 7 8 第3位 横田美尋
女子東部共通 円盤投げ 記録 1 7 m 7 6 第4位 横田美尋

☆野球部

令和8年度 春季シード権大会 優勝



6月・7月の予定

6月	7月
10日(水) 保幼小中連携教育の日 定期考査一週間前	8日(水) 教科交流授業研究の日
17日(水) 前期中間考査 給食あり	13日(月) 3年修学旅行始
18日(木) 前期中間考査 給食あり	15日(水) 3年修学旅行終 区中研領域部会
19日(金) 3年内科検診	16日(木) 大掃除
22日(月) セーフティー教室	17日(金) 全校集会
24日(水) 2年TGG	20日(月) 海の日
	21日(火) 夏季休業始 教育相談始 ~27日(月)まで